

## 先週と今週（5月7日から5月15日）の短期金融市場動向

## ●インターバンク市場

先週と今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高が7日の税揚げ要因等やTB3Mの増発による発行超過、10Y発行など減少要因が多かった一方で、新型コロナウイルス対策関連の払いが見られたため、概ね405兆円前後での推移となった。無担保コールO/Nは、積み期終盤に入った事で14日までは調達ニーズが強く▲0.035～▲0.01%近辺での出合いが中心となった。15日は積み最終日であったが、来積み期にも掛かるため、地銀業態を中心に調達を控えた先が多く、出合いレートは低下した。ターム物は、1W物で一部まとまった調達が見られたものの、それ以外は1W～2W物を中心に▲0.035～▲0.02%近辺での出合いが散見された。

14日には新型コロナオベが3M物でオファーされた。27日の金融政策決定会合において新型コロナオベの拡充が決定してから初めてのオベとなり、86,839億円と大量の応札が見られた。

## ●レポ市場

GC T/Nの水準は、7～8日は▲0.10～▲0.07%、今週は▲0.15～▲0.09%のレンジで推移した。

SC個別銘柄では、5年133～143、10年336～358、20年162～172、30年59～66、40年9～12などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

## ●短国市場

先週の短国市場は、相次ぐ入札による需給悪化懸念などから慎重姿勢も見られたものの、オベ増額を見込んだ買いも入り、3M物が▲0.150～▲0.125%、6M物が▲0.195～▲0.125%出合いと堅調に推移した。今週の短国市場は、様子見姿勢が強く、閑散なマーケットとなった。短国買入オベが大幅に増額され、店頭での買いが限られる中、3M物が▲0.145%、6M物が▲0.187～▲0.175%で出合う展開となった。

7日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.125%で出合う中、平均落札利回▲0.1474%、按分落札利回▲0.1435%と、しっかりした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.170%出合いと堅調に推移した。

8日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.127～▲0.125%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1229%、按分落札利回▲0.1110%と、順調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.140～▲0.130%出合いと堅調に推移した。

12日に実施された短国買入オベは、前回から10,000億円増額の15,000億円でオファーされ、平均落札利回較差+0.007%、按分落札利回較差0%と、やや弱めの結果となった。

15日に日実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.127～▲0.117%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1154%、按分落札利回▲0.1102%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.125～▲0.120%出合いと堅調に推移した。

## ●CP市場

今週と先週の入札の発行総額は10,000億円弱と、ノンバンクの少額発行が多い中、電機・鉄鋼・石油業態から500億円以上の大型発行が複数実施された。償還総額は8,200億円程度と発行超ではあるものの、4月中旬以降の市場残高は23兆円台前半とほぼ横ばい圏での推移が続いている。発行レートは、銘柄によりばらつきがあるものの、4月27日の金融政策決定会合においてCP等買入オベの追加買入枠が大幅に拡充されたこともあって、主だった銘柄では0%近辺まで低下した。全体的に見れば、市場は大方落ち着きを取り戻しつつあると言える。

13日には、CP等買入オベが予定通り8,000億円でオファーされた。4月27日の金融政策決定会合後、初めての実施ということもあって、レートの低下が予想されていたものの、オファー時に応札下限レート▲0.10%が設定されていたことで、応札額1兆3,243億円、落札額7,996億円、按分レート▲0.068%、平均落札レート▲0.027%という結果に落ち着いた。

## ●短期金融市場関連指標

|         | 日経平均（円）   | 新発10年物<br>国債利回り（%） | 為替<br>（ドル/円中心相場） | 無担保コールO/N<br>（加重平均・%） | 東京レポレート（翌日物・<br>T+1スタート・%） | 日銀当座預金残高<br>（億円） |
|---------|-----------|--------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 5/7（木）  | 19,674.77 | △ 0.005            | 106.26           | △ 0.035               | △ 0.077                    | 4,048,500        |
| 5/8（金）  | 20,179.09 | △ 0.005            | 106.40           | △ 0.027               | △ 0.070                    | 4,063,700        |
| 5/11（月） | 20,390.66 | 0.005              | 106.94           | △ 0.019               | △ 0.111                    | 4,022,300        |
| 5/12（火） | 20,366.48 | △ 0.010            | 107.51           | △ 0.022               | △ 0.133                    | 4,045,600        |
| 5/13（水） | 20,267.05 | △ 0.005            | 107.22           | △ 0.026               | △ 0.107                    | 4,034,300        |
| 5/14（木） | 19,914.78 | △ 0.010            | 106.87           | △ 0.020               | △ 0.121                    | 4,050,500        |
| 5/15（金） | 20,037.47 | △ 0.007            | 107.42           | △ 0.040               | △ 0.092                    | 4,182,000        |

## 来週（5月18日から5月22日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

|          | 国内主要経済指標                                              | 国債等入札予定                     |                            |  | 海外主要経済指標                         |
|----------|-------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--|----------------------------------|
| 5/18 (月) | 1-3月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)<br>3月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) | 5Y<br>19,000億円<br>5/19発行    |                            |  |                                  |
| 5/19 (火) |                                                       | TB1Y<br>25,000億円<br>5/20発行  |                            |  | 4月の米住宅着工件数                       |
| 5/20 (水) | 3月の機械受注統計(内閣府 8:50)                                   | 20Y<br>9,000億円<br>5/21発行    |                            |  | 4月のユーロ圏消費者物価指数改定値<br>4月の英消費者物価指数 |
| 5/21 (木) | 4月の貿易統計(財務省 8:50)                                     | 交付税借入<br>21,000億円<br>5/29借入 |                            |  | 4月の米中古住宅販売                       |
| 5/22 (金) | 4月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)                            | TB3M<br>81,400億円<br>5/25発行  | 流動性供給<br>5,000億円<br>5/25発行 |  |                                  |

### ●資金需給予想

| 単位：億円    | 銀行券要因 | 財政等要因    | 資金過不足    | オペ種類                          | 期日分              | 新規実行分                   | オペ合計   | 実質過不足    | 需給要因                                                       |
|----------|-------|----------|----------|-------------------------------|------------------|-------------------------|--------|----------|------------------------------------------------------------|
| 5/18 (月) | 1,300 | ▲ 25,700 | ▲ 24,400 | 国債買入<br>CP買入<br>ETF買入<br>国債補完 | ▲ 400<br><br>700 | 4,600<br>8,000<br>2,500 | 15,400 | ▲ 9,000  | TB3M発行▲72400償還42900                                        |
| 5/19 (火) | 1,000 | ▲ 36,000 | ▲ 35,000 |                               |                  |                         | 0      | ▲ 35,000 | コロナ対応による申告所得税振替分<br>5Y発行▲19000                             |
| 5/20 (水) | 0     | 20,000   | 20,000   |                               |                  |                         | 0      | 20,000   | TB1Y発行▲25000償還15500<br>変動15Y償還9000<br>エネルギー対策借入▲8000期日8500 |
| 5/21 (木) | 0     | ▲ 16,000 | ▲ 16,000 |                               |                  |                         | 0      | ▲ 16,000 | コロナ対応による消費税振替分<br>20Y発行▲9000                               |
| 5/22 (金) | 0     | ▲ 6,000  | ▲ 6,000  |                               |                  |                         | 0      | ▲ 6,000  | 交付税借入▲21000期日10500                                         |
| 週 間 合 計  | 2,300 | ▲ 63,700 | ▲ 61,400 | —                             | 300              | 15,100                  | 15,400 | ▲ 46,000 |                                                            |

5/18は日銀予想、5/19以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、新積み期間に入ること、出合いレートは一旦低下して始まると予想される。業態により資金偏在が起きていると見られるが、大手行・信託業態を中心に一定の調達ニーズが見込まれることから、底堅い展開が予想される。レポ市場は、来週のGC T/Nは▲0.14～▲0.07%と、ワイドなレンジでの取引が予想される。短国市場は、19日に1Y物、22日に3M物の入札が実施予定となっている。短国が増発傾向にある中、需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。CP市場は、大半の銘柄で0%近辺となった発行レートが定着するかどうか注目が集まる。

主要なイベントとしては、国内では18日に1-3月期のGDP速報、22日に4月の全国CPIが、海外では20日に4月の英CPI等が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入